

## ハルゼミの1色彩変異

### Note on color variant of *Yezoterpnosia vacua* from Hyogo Prefecture

児島孝宣<sup>1)</sup>・東野ななみ<sup>2)</sup>・渡邊詳丈<sup>3)</sup>

ハルゼミ *Yezoterpnosia vacua* (Oliver, 1790) は、関東以西から九州にかけて主に平地のマツ林に生息し、4月下旬頃から6月末頃まで見ることができる。兵庫県内でも各所で記録されているが県版レッドリスト(2012)では「要注目」とされている。

その体色は通常♂は黒色、♀は褐色で黒斑を有し、体表面は灰色の鱗毛を装っている(図3, 図6)が、今回これまでに知られていない色彩変異を有する1♂(図1, 図2)1♀(図4, 図5)が相次いで得られたので報告する。

♂は羽化直後のもの、♀はアカマツの幹を登っていた幼虫を羽化させたもので、いずれも渡邊が発見し採取した。♀は羽化させていた干し籠の網目に右前翅の先端が引っかかりSc脈およびRA脈が途中から伸長できなくなったため、先端の翅端室が正常に形成されない不全を起こした。しかし、これは事故でセミ自体に起因したのではない。

両個体とも吸汁用にアカマツの枝を与えて飼育を試みたが、体が固まり着色が完了して以降も摂食を開始することなく死亡した。生存期間はともに羽化後2日弱だった。

いずれの個体も死後間もなく東野の元に送付され乾燥標本にされた後保管されている。

[標本データ]

1♂, 兵庫県西脇市, 30. IV. 2021

体長25mm, 翅端長33mm. やや小型. 前胸背の内片および外片は橙色. 中胸背はX隆起を含め黒色で側縁は緑色. 腹部は腹弁を含め背腹とも橙色. 体表を覆う鱗毛は金色. 翅脈は暗緑褐色で脈相や暗色紋に異常は認められないものの右側の前後翅が左側よりほんの少し短い.

1♀, 兵庫県多可町, 16. V. 2021

体長19mm. 翅端長28mm. 矮小個体. 中胸背は暗褐色で褐色の紋がみられ, 側縁は緑色. 前胸背および腹部は橙色となるが, 前胸背中央部と内片の溝は黒色を留める. 翅脈は緑褐色で脈相や暗色紋に異常は認められないが羽化時に右前翅が撚れて伸長し切れていない. 産卵管が黄色を呈している.

最後に、発表に際してご助言を賜った中峰 空氏、文献を手配して下さった宮武頼夫氏に感謝申し上げます。

#### ○参考文献

林 正美・税所康正, 2015. 改訂版日本産セミ科図鑑. 224pp. 誠文堂新光社, 東京

税所康正, 2013. ハルゼミの色彩変異と羽化後の色彩変化. *Cicada*, 21:4-6



図1 ハルゼミ♂色彩変異型.



図2 羽化後5時間30分経過.



図3 基本型♂.



図4 ハルゼミ♀色彩変異型.



図5 羽化後18時間20分経過.

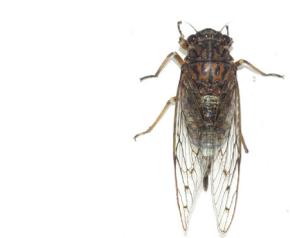


図6 基本型♀.

<sup>1)</sup> Takanori KOJIMA 日本セミの会 <sup>2)</sup> Nanami HIGASHINO 大阪市 <sup>3)</sup> Yoji WATANABE 西脇市動植物生態調査研究グループ